

COMPASS

学習院大学通信

第29号

2006.4.1

◆編集発行◆

学習院大学学生部 東京都豊島区目白1-5-1

CONTENTS

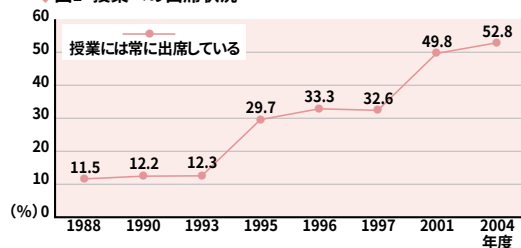
- 1- 新学期を迎えて 学生部長
- 2- 学長表彰、院長表彰
- 3- 東洋文化研究所、学生相談室
スポーツ・健康科学センター
「第20回オール学習院の集い」開催のお知らせ
- 4- 履修についてのお知らせ
教務部 学芸員資格取得事務室
外国語教育研究センター
計算機センター 教職課程事務室
- 6- 奨学金
- 9- 各部署からのお知らせ
- 15- セクシャル・ハラスメント相談窓口
保健室だより
- 16- 学年暦・課外活動レポート
編集後記（盗難に注意）

新学期を迎えて

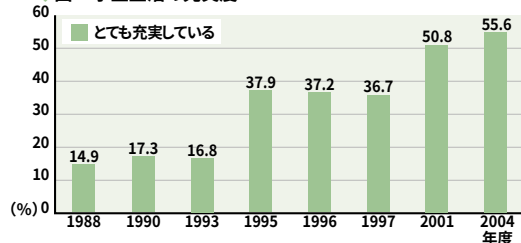
ー学習院大学生の「まじめ化」現象を考えるー

2月19日付日本経済新聞の「大学激動」という連載特集では、かつて「大学レジャーランド化」と呼ばれた現象は明らかに変わりつつあり、学生の講義への出席率が向上していることや、かつては学生に「歓迎」された休講に対して今の学生は補講を要求するといった事例を紹介し、キャンパスに「まじめ化」が進行していると指摘しています。学習院大学ではこのような「まじめ化」現象は起きているのでしょうか。学生アンケート調査からその一端を探ってみましょう。授業への出席状況を示した図1では、「常

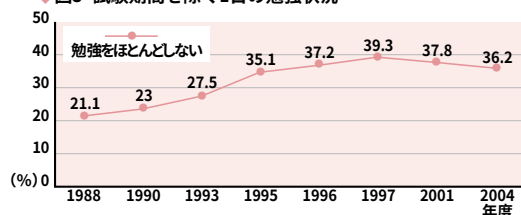
◆図1 授業への出席状況



◆図2 学生生活の充実度



◆図3 試験期間を除く1日の勉強状況



に出席している」人の割合はかつては10%台であったが今は5割を超えており、学習院大学でも「まじめ化」現象は着実に進んでいるようです。2004年度の調査結果を精査すると、「常に授業に出席している」人の60%は「学生生活がとても充実している」と答えているのに対し、「科目により出席している」人ではこの割合が51%に低下しています。これから授業への出席状況と大学生生活の充実度には相関がありそうです。事実、図2から「学生生活がとても充実している」という回答者の割合は授業の出席率の上昇傾向と平行に上昇していることがわかります。

この調査結果を見る限り、学習院大学の「まじめ化」現象は健全で申し分ないように見えますが、先の新聞の特集には続きがあるのです。「まじめ化」の裏側で「関心は講義の枠内だけ」「しょせん受け身で小粒になった」「何かを深く知ろうとする意欲が乏しい」といった識者の声と事例を紹介しています。

図3は本学において「試験期間を除く1日の平均勉強時間」を尋ねたところ「勉強はほとんどしない」と回答した人の比率の推移です。かつては2割台であったものが4割近くに上昇しています。授業には良く出るようになったが、自発的に学ぼうとする意欲は低下している。そのような学生像が本学でも見えてこないでしょうか。今、社会が若者に求めているのは表面的な「まじめ化」ではありません。新学期を迎えるにあたり、この統計データが意味するところを自分なりに考えてほしいと思います。



学生部長 遠藤 久夫

学 長 表 彰

(経研D3 高橋陽子さん)

院 長 表 彰

(経営学科上田隆穂ゼミ7名)

受 賞 に つ い て

学 長 表 彰

■受賞者 (敬称略)

経済学研究科経済学専攻博士後期課程3年 高橋陽子

■表彰式

平成17年12月21日(水)15時30分より

西5号館6階学長室において表彰状と副賞を授与

■表彰理由

『日本労働研究雑誌』No.536に発表した学術論文「ホワイトカラー『サービス残業』の経済学的背景―労働時間・報酬に関する暗黙の契約」が、第6回労働関係優秀論文賞、および第1回SSJデータアーカイブ優秀論文表彰において、優秀賞を受賞した為。



学長、学生部長と記念撮影

■論文要旨

大企業ホワイトカラーへのアンケートデータを用い、「サービス残業」する労働者はしない労働者に比べて総報酬額が高いことを確認した。これは、通常不払い労働と考えられている「サービス残業」の少なくとも一部には、ボーナス等を通じて対価が支払われていることを示している。このような有償の「サービス残業」が発生する理由のひとつとして、企業が労働者の総労働時間ではなく成果を基準に報酬を決めるようになったことが示唆される。

(当該論文は、独立行政法人労働政策研究・研修機構ホームページ <http://www.jil.go.jp/institute/zassi/index.html>に掲載されています)。

※学長表彰とは

学習院大学に在学する学生で学術研究活動等が学会等において高く評価された者に対して行う(「学習院大学学生表彰規程」)。高橋陽子さんは、第1回目の受賞者。

院長表彰(文化活動賞)

■受賞者 (敬称略)

経済学部経営学科上田隆穂ゼミナール

経営学科4年/飯田慶雄 鈴木清香 槻館拓哉

野島希恵 宮代淳子 村松由美子

経済学科4年/山 岳

(学年は表彰時)



院長室にて記念撮影

■表彰式

平成18年1月11日(水)11時より

西5号館6階院長室において表彰状と記念品を授与

■表彰理由

佐賀県における平成17年度県物産ブランド化支援事業アイデア公募論文「嬉野茶の新たな流通チャネル戦略～栄西もうれしい嬉野茶～」において、最優秀賞(金賞)を受賞し、県知事より表彰をうけた為。結果は、佐賀県ホームページ(<http://www.pref.saga.lg.jp/at-contents/shigoto/butsuryu/kanban/>)に掲載、佐賀新聞にも取り上げられ、そのアイデアは県内企業に採用されました。

■論文内容

臨済宗の日本の開祖である栄西が、中国の宋から持ち帰った茶種を佐賀の脊振山に植えたことが日本のお茶の発祥となっているという歴史性、物語性を活かし、嬉野茶のブランドイメージの向上を図る。また、その栄西が開いた臨済宗の各寺院を通じた新規の販売チャネルを開拓し、嬉野茶の販売促進を行うことで、売上の増加とブランドイメージの向上という相乗効果を高める。

※院長表彰(文化活動賞)とは

学習院の設置する各学校に在学する学生・生徒・児童・園児が、国または地方自治体その他が行う大会またはコンクールに個人または団体で参加し、優秀な成績をおさめた場合、または学習院長が、特に表彰に価すると認めた場合に表彰。文化活動賞、スポーツ活動賞、特別賞。

文化活動賞は、個人または団体で参加し、学術文化の分野における国際的または全国的な大会・コンクール等において優秀な成績を収めた場合に表彰(「学生・生徒表彰規程」)。

東洋文化研究所

■「東アジア学研究」の最前線を知る ー東文研へようこそ!!

東洋文化研究所では、中国・朝鮮を中心とした東アジアの歴史・政治・思想などに関する学内外の研究者によるプロジェクト研究をおこなっています。2006年度に活動する研究プロジェクトは以下の7つです。

①危機言語・サオ語(台湾中部)の現地調査による基礎的言語調査と研究

(安部清哉教授 [文学部日本語日本文学科])

②近代中国知識人の「中国」認識

(高柳信夫助教授 [外国語教育研究センター])

③「中国台頭」と対外関係

(中居良文教授 [法学部政治学科教授])

④東アジア比較私法

(沖野真已教授 [法学部法学科])

⑤中国における社会変動と教育改革の動向

(諏訪哲郎教授 [文学部教職課程])

学習院大学東洋文化アーカイブズプロジェクト

⑥朝鮮総督府録音記録セクション

(辻弘範助手 [東洋文化研究所])

⑦漢籍データベースセクション

(武内房司教授 [文学部史学科])

各研究プロジェクトでは年数回、それぞれの研究テーマに関連する講演会を開催しています。2005年度には汪暉氏(清華大学教授、中国現代思想)や朱鋒氏(北京大学教授、国際政治学)などを講師としてお招きし、中国思想の現状や軍事問題に関する一般の人ではなかなか知ることのできない情報などをお教えいただきました。今年も最新の東アジア学の研究成果をわかりやすくみなさんにお伝えできるよう講演会を企画いたしますので、是非一度東文研をのぞいてみてください。いま最も熱い東アジアの風はあなたのすぐ近くに吹いています!講演会の予定については、東文研のホームページでご確認下さい。

(URLは<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/rioc/>)



スポーツ・健康科学センター

西2号館地下2階にトレーニングルームがあります。授業でも使いますが、講習を受ければ基本的に個人で自由に使えます。時間を有効に使って、学生生活を健康的で楽しいものにして下さい。

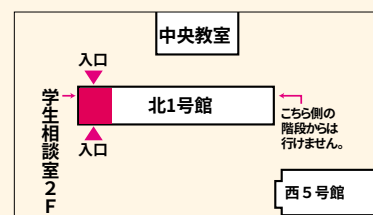


学生相談室

■いつでも、だれでも、どんなことでも。 ーより充実した豊かな学生生活を送るためにー

新たな生活がスタートしました。喜びや期待に心はずむ季節ですが、その一方で慣れない環境にとまどい不安に思うこともあるかもしれません。一人で考え、自力で解決していくことは大切ですが、時にはなかなか解決の糸口が見えないこともあるでしょう。

そんな時には一人で悩まず、学生相談室を訪ねて来てみて下さい。学業のこと、進路のこと、人間関係のこと、自分の性格や心のことなど、皆さんが直面した様々な問題について専門の相談員(カウンセラー)がご相談を受けています。



- 相談受付時間: 月～金 9:30～17:00
土 9:30～12:30
- 場所: 北1号館2階(東側階段上がる)
- 電話: 03 (3986) 0221 内線2514

- ＊編入学生や新一年生の方で学生相談室のオリエンテーションに出席できなかった方は、ぜひ一度お立ち寄りください。
- ＊ご家族の方からのご相談もお受けしています。
- ＊カウンセラーには相談内容についての守秘義務があるので、安心して相談できます。

「第20回オール学習院の集い」開催のお知らせ

本年も春恒例の行事として「オール学習院の集い」を学習院父母会、校友会、常磐会のご協力を得て、下記のとおり開催いたします。

この集いは、学習院関係者(卒業生、在学生、父母、教職員等)と共に、近隣の方々などにもご参加願ひ、親睦と交流の輪を広げていただこうという趣旨で毎年4月に開催しているものです。

当日は、模擬店やフリーマーケット、大道芸などの催し物、豪華賞品が当たるチャリティーラッフル(収益は慈善団体への寄付とするクジ)など、楽しい企画をたくさんご用意しております。学生の皆さんも、どうぞ奮ってご参加ください。

＊ ＊ ＊ 記 ＊ ＊ ＊

- ＊日時: 平成18年4月16日(日)
午前9時30分～午後4時(雨天決行)
- ＊会場: 学習院目白キャンパス(豊島区目白1-5-1)
- ＊備考: ① 創立百周年記念会館正堂での合同演奏会のほか、各種催し物、諸会合が行われます。
② 詳しくは学生部の窓口で配付するプログラムをご覧ください。

◆履修についてのお知らせ◆

教 務 部

● 履修届の提出について

■ 学部学生・大学院生

提出期間

学部 1・2年生 4月25日(火)、26日(水)

学部 3・4年生、大学院生 4月27日(木)、28日(金)

[理学部は4月27日(木)、28日(金)の2日間のみ]

提出時間 9時30分～11時00分

12時10分～16時00分

提出場所 西5号館1階 多目的ホール

[理学部は南1号館2階 理学部会議室]

■ 法科大学院生

提出期間 4月6日(木)、7日(金)

提出時間 9時30分～11時00分

12時30分～16時00分

提出場所 西5号館4階 教務部教務課

＊正しいコードNo.を記入しないと、授業科目名を正しく記入しても科目が登録されなかったり、誤った科目が登録されたりするので、十分注意してください。

＊時間割が変更される場合もありますので、必ず掲示を確認してください。

＊5月中旬に「履修届確認票」を送付しますので、必ず登録科目を確認してください。

● f-Campus の登録手続きについて

学習院女子大学・日本女子大学・立教大学・早稲田大学との5大学間単位互換制度(f-Campus)に基づく科目登録を受け付けます。

科目登録は右記ホームページからアクセスするWeb上で行います。

■ 対 象 者 2年次以上の学部学生(正規学生)

■ 登録期間 4月1日(土) 12:00～4月6日(木) 9:30

■ 結果発表 4月7日(金) 14:00～

＊科目登録できる単位数の上限は、他の4大学合計で年間12単位まで可能です。

＊登録期間内は24時間受け付けます。

＊応募者が定員を超過した場合は、抽選を行います。

＊2次登録はありません。

＊登録した科目は、本学の履修届に記入しないでください。

＊第1学期、第2学期、通年、集中講義ともすべて上記の期間に登録を受け付けます。

＊詳細については右記ホームページまたは『平成18

年度「特別聴講学生」募集要項』をご覧ください。
募集要項は教務部教務課・学生ホール・大学図書館・法経図書センターで配布しています。

f-Campus バーチャル事務局ホームページ

<http://www.f-campus.org>

● 司書資格の取得を希望する方へ

学習院女子大学で開設されている司書課程科目を、科目等履修生として履修することにより、司書の資格を取得することができます。

司書課程科目の履修を希望する方を対象としたガイダンスを開催しますので、必ず出席してください。

■ 日 時 4月11日(火) 14:00～15:00

■ 場 所 学習院大学 西5-B1教室

＊司書課程科目を履修することができるのは2年生以上です。ただし、ガイダンスは1年生でも出席することができます。

＊ガイダンスに出席しないと、履修が認められない場合があります。

＊すでに司書課程科目を履修している方は、あらためて出席する必要はありません。

＊出願要項・願書は教務部教務課(西5号館4階)で配付します。出願期間は4月12日(水)～15日(土)です。

学芸員資格取得事務局

● 「学芸員」とは、博物館や美術館などにおいて、様々な資料の収集や保管、展示、調査研究にあたる専門職員のことをいいます。

■ 本学において、この資格を取得するためのガイダンスが、下記の通り開催されます。学芸員資格を取得するため「博物館に関する科目」の履修登録を希望する学生は必ずガイダンスに出席し、手続き書類を受領し、登録を行ってください。

「博物館に関する科目履修ガイダンス」

日 時：4月10日(月) 14時30分～

場 所：西5-B1教室

■ 平成18年度に「博物館実習」を履修する学生のためのガイダンスが、下記の通り開催されます。平成18年度に博物館実習の履修を予定し、平成17年度中に「仮登録」を済ませた学生は必ずガイダンスに出席し、博物館実習のクラスを確認し、手続き書類を受領し、登録を行ってください。

※事前の連絡なく欠席した者は「博物館実習」の履修資格を失うこととなります。

「第2回 博物館実習ガイダンス」

日 時：4月10日(月) 18時00分～

場 所：西5-B1教室

外国語教育研究センター

- **平成18年度 英語インテンシヴ・コースの履修について**
英語インテンシヴ・コースは、国際人として通用する英語の実践的能力の養成を目指すコースです。Native speakerによる授業も多く、履修者の積極的な意欲によってさらに充実した授業が望めます。

■対象：履修希望者（全学部対象）

履修者は、1年生を対象に実施される英語能力試験の結果によって決定されます。1年生の履修希望者は試験後に行われる履修希望者ガイダンスに必ず出席してください。また、2年生以上の履修希望者も英語能力試験を必ず受験（掲示を参照）し、履修希望者ガイダンスにも出席してください。

■英語能力試験

4月5日(水) 16:00～19:00

【1年生】

法学部	西5-B1・201・202
経済学部	西2-301・302・401・501
文学部 哲・ド	西2-402
史・フ	南3-201
日・英・心	西5-301・302・303
理学部	西2-201
【2年生以上】	西2-201

■履修希望者ガイダンス

4月6日(木) 16:00～17:00 西2-201

※履修決定者は4月8日(土) 12:00から外国語教育研究センターの北1号館西側掲示板にて掲示発表します。

教職課程事務局

● 教職を目指す学生諸君へ

■教職課程説明会

教職課程についての説明会を下記のとおり実施します。新入学生（平成18年4月入学者）および平成12年4月1日以降に入学した者で、本年度から新たに教職課程の履修を希望する者は、必ずこの説明会に出席してください。

日 時：4月10日(月) 13時00分～

場 所：西5-B1教室

**対象者：新たに教職課程の履修を希望する者
（主に新入学生）**

■教職課程履修登録ガイダンス

平成12年4月1日以降に入学した者で、平成17年度までに「教育基礎」および「教職概論」を履修し単位を取得した者は、今年度より、教職課程を正規履修することが可能となります。履修登録につきガイダンスを行いますので、該当者は必ずこのガイダンスに出席してください。なお、このガイダンスに欠席した者は、平成18年度の正規履修資格がなくなります。

日 時：4月12日(水) 18時10分～

場 所：西5-B1教室

対象者：主に新2年生（新法対象者）

※他大学で学籍を持ったことがある者で、本年度から新たに教職課程の履修を希望する者は、必ず4月8日(土)までに教職課程事務局へ履修の相談に来てください。

※今年度編入学した者で、教職課程の履修を希望する者は、4月10日(月)に試験／面接を行いますので4月8日(土)までに教職課程事務局に申し出て下さい。

計算機センター

● 計算機センターの利用について

【1】 実習室等のコンピュータを利用するには次のいずれかの条件が必要となります。

①情報処理科目のうち「初等情報処理1」（あるいは「情報処理入門1」）を履修する。

授業を履修している期間、コンピュータを利用することができます。これらの単位を取得した学生に限り、卒業まで継続してコンピュータを利用することができます。

②①以外の「コンピュータを使用する授業科目」を履修する。

その授業を履修している期間に限り、コンピュータを利用することができます。

③センター主催の認定試験に合格する。

センター主催の認定試験に合格すると、卒業まで継続して利用することができます。

（注）但し、この試験は「初等情報処理1」を履修済み、または同等以上の知識を持っている方を対象に実施します。詳しくは、計算機センターまでお問い合わせください。

※①、②の場合、ユーザ登録手続きは授業中に行ないます。センター事務局ではユーザ登録することはできません。注意してください。

【2】 計算機センターを使用する時には次のことを守ってください。

1. 計算機センター館内禁煙。
2. 飲食禁止。
3. 傘などの濡れたものは持ち込み厳禁。
4. 機械のトラブルや利用上の不明な点がある場合には、インストラクターに相談すること。

【3】 利用時間

計算機センター実習室

月曜日～金曜日：9時～18時 土曜日：9時～14時

計算機センター実習室以外にも、コンピュータを利用できる場所があります。詳細は「学生生活の手引」等を参照してください。

【4】 新システムについて

この4月から、計算機センターのシステムが変わりました。掲示等にご注意ください。

奨学金

Information

問合せ窓口：学 生 部

日本学生支援機構奨学金・学習院大学奨学金募集説明会の開催

日本学生支援機構奨学金・学習院大学奨学金の募集説明会を、次のとおり行います。奨学金を希望する学生は、必ず説明会に出席してください。

● 開催日時・会場 ●

学部 1 年 生

■ 日 時：4月 5 日(水) 14時～
■ 会 場：西2号館201教室

大 学 院 生

■ 日 時：4月14日(金) 19時～
■ 会 場：西5号館201教室

学部2年生以上

■ 日 時：4月14日(金) 18時～
■ 会 場：西5号館B1教室

法科大学院生

■ 日 時：4月14日(金) 16時30分～
■ 会 場：西5号館201教室

奨学金出願資格

奨学金は、家計及び成績基準といった「**出願資格**」(詳細は、説明会にて周知)を**設定**しています。また、採用枠という制約があり、出願資格を満たしていても、必ず採用されるとは限りません。

● 日本学生支援機構(学部)奨学金 ●

一、出願資格

[第一種(貸与・無利子)]：特に人物・学業ともに優秀かつ健康であって著しく学費の支弁が困難であると認められる者。

※なお、次の方は出願資格がありません。(詳細は学生部)。

最短修業年限を越えて在学している方

現に日本学生支援機構奨学生である方(一部出願可能な場合あり)

私費留学生

科目等履修生、研究生、委託生

専修学校専門課程において日本学生支援機構奨学生であった方(ただし翌年以降出願可)

高等専門学校に4年以上在籍し、日本学生支援機構奨学生であった方(ただし翌年以降出願可)

出入国管理および難民認定法により一定の業務活動等を行うため、期限を定めて在留が認められている外国人とその子弟

その他

[第二種(貸与・有利子)]：人物・学業ともにすぐれ、かつ健康であって、奨学金の貸与が必要であると認められる者。

※なお、次の方は出願資格がありません(詳細は学生部)。

最短修業年限を越えて在学している方

現に日本学生支援機構奨学生である方(一部出願可能な場合あり)

私費留学生

科目等履修生、研究生、委託生

その他

(注) 外国籍の方は在留の様態により奨学生の対象とならない場合もあるので、必ず学生部で確認の上出願してください。

二、貸与月額

(第一種)

①平成17～18年度入学者

自宅通学者… 54,000円 自宅外通学者… 64,000円

②平成15～16年度入学者

自宅通学者… 53,000円 自宅外通学者… 63,000円

(第二種)

3、5、8、10万円の中から選択

三、貸与期間(第一種・第二種)

採用時から最短修業年限の終期まで

四、出願に際しての提出書類

主たる家計支持者の前年度の年間所得金額を証明するもの(源泉徴収票、又は税務署の受付印のある確定申告書等)並びに連帯保証人の印鑑証明書を提出してください。

● 日本学生支援機構（大学院）奨学金 ●

一、出願資格【第一種・第二種共通】

学業・人物ともに優れ、かつ健康であって、大学院において研究を継続するにあたり奨学金の貸与が必要であると認められる者。

（注）外国籍の方は在留の様態により奨学生の対象とならない場合もありますので、必ず学生部で確認の上、出願してください。

※なお、次の方は出願資格がありません（詳細は学生部）。

最短修業年限を越えて在学している方

出入国管理および難民認定法により一定の業務活動等を行うため、期限を定めて在留が認められている外国人とその子弟

その他

二、貸与月額

（第一種）（無利子）

①平成17～18年度入学者

博士前期課程… 88,000円 博士後期課程… 122,000円

②平成16年度入学者

博士後期課程… 121,000円

（第二種）（有利子） 5、8、10、13万円の中から選択

三、貸与期間（第一種・第二種）

採用時から各課程の最短修業年限の終期まで。

四、出願に際しての提出書類

出身学校（大学又は大学院）の成績証明書、本人及び配偶者の年間所得金額を証明するもの、連帯保証人の印鑑証明書を添付して出願してください。

● 日本学生支援機構（法科大学院）奨学金 ●

一、出願資格【第一種・第二種共通】

学業・人物ともに優れ、かつ健康であって、国および社会に有為な優れた法律家の養成に資すると認められ、大学院において奨学金の貸与が必要であると認められる者。

（注）外国籍の方は在留の様態により、奨学生の対象とならない場合もありますので、必ず学生部で確認の上、出願してください。

※なお、次の方は出願資格がありません。

出入国管理および難民認定法により一定の業務活動等を行なうため、期限を定めて在留が認められている外国人とその子弟

その他

二、貸与月額

（第一種）（無利子）

①平成17～18年度入学者 88,000円

②平成16年度入学者 87,000円

（第二種）（有利子） 5、8、10、13万円の中から選択（ただし、13万円を選択した場合、4万、7万円の増額貸与が希望できます）

三、貸与期間（第一種・第二種）

採用時から各課程の最短修業年限の終期まで。

四、出願に際しての提出書類

出身学校（大学又は大学院）の成績証明書、本人及び配偶者の年間所得金額を証明するもの、連帯保証人の印鑑証明書を添付して出願してください。

● 学習院大学奨学金 ●

一、出願資格

入学後勉学の意欲がある学生で、学資の支弁が困難と認められる者。

二、貸与額

学費納付金相当額。ただし、法科大学院学生については、授業料等の2分の1相当額とする。

三、貸与期間

1年（次年度以降継続して貸与を希望するものは、各

年度毎に再出願して審査を受けなければなりません。）

四、返還方法について

学籍を離れた月の翌月から起算しますが、詳細は学生部まで照会してください。

（注）2年次以上の学生が希望する場合、4月21日（金）までに「授業料延納願」を学生部まで提出してください。なお、用紙は学生部にあります。

● 学習院大学学費支援給付奨学金（学部生） ●

一、出願資格

1. 入学後勉学の意欲のある学部生（留学生を除く）で学費の支弁が困難と認められる者。

2. 最短修業年限で卒業できる見込みの者のうち、家計基準と成績基準を満たす者。

二、給付額

在籍学部学科の第二期分授業料相当額

（ただし、この奨学金の給付を受けた学生は、学習院大学奨学金の第二期分の貸与は認めません。）

三、出願に際しての提出書類

前年度の年間所得金額を証明するものを提出してください。

● 教育ローン金利助成奨学金 ●

一、出願資格

学費の支弁が困難で、学生本人又は学生の保証人が本学学費納付を目的として、本学が指定した金融機関より教育ローンを借用した者。

二、給付額

当年度に支払った金利のうち、借用年度の授業料及び

維持費の累積金額の2%又は、支払った金利のどちらか低い金額とする。但し、1年間の上限を5万円とする。

三、出願に際しての提出書類

受給希望者は当年度2月上旬までに所定の申請書、本人又は保証人の振込口座届及び支払を証明する書類を提出してください。

■ 私費外国人留学生のみなさんへ

● 学習院大学外国人学生に対する奨学金募集のお知らせ ●

一、出願資格

1. 本学の正規の課程に在学し、経済上の理由により学費の負担が困難と認められる私費外国人留学生。(科目等履修生、研究生、委託生は出願できません。)
2. 出入国管理及び難民認定法(昭26.10.4政令第319号)に定める「留学」の在留資格を有する者であること

3. 国費外国人留学生以外の者であること

二、給付金額(年額) … 300,000円(平成17年度実績)

三、希望者は、4月12日(水)までに学生部で出願書類をお受け取りください。なお、提出締切は、4月14日(金)です。

■ 留学希望者へ

● 学習院大学海外留学奨学金 ●

13頁国際交流センター「学習院大学海外留学奨学金の募集」をご覧ください。

■ 現在、日本学生支援機構(旧日本育英会)奨学金を受けている学生へ

● 適格認定奨学金継続願 ●

適格認定奨学金継続願は、必ず受領、提出する書類です。未受領及び未提出の場合は、奨学金の貸与が打ち切られます。

以下の予定で説明会を開催しますが、日時等、詳細については、北1号館西側掲示場、西5号館4階学生部掲示板で必ず確認してください。

説明会開催時期：平成18年12月上旬(予定)

● 返還誓約書の提出 ●

平成18年度中に貸与を終了する場合は、「返還誓約書」の提出が必要となります。

平成19年3月に貸与終了を迎える学部4年生、大学院(博士前期課程2年生、博士後期課程3年生)、法科大学院3年生については、以下の予定で説明会を開催しますが、日時等、詳細については、北1号館西側掲示場、西5号館

4階学生部掲示板で必ず確認してください。

説明会開催時期：平成18年11月中旬(予定)

※「返還誓約書」の提出がない場合は、日本学生支援機構より貸与金額の全額を一括して返還するよう求められる場合があります。

● 異動等の届出 ●

休学、留学、復学、退学、辞退、転部転科、貸与月額の変更、改氏名、連帯保証人変更、振込口座変更等の異動

等が生じた場合は、必ず学生部奨学金窓口に申し出てください。

■ 過去に日本学生支援機構(旧日本育英会)奨学金を受けていた学生へ

● 在学届 ●

以下の方は、「在学届」を提出してください。

新入生(大学・大学院)で、前年度まで高等学校または前の学校で日本学生支援機構奨学生であった方

在学生のうち、前年度までに返還誓約書を提出し、引き続き在籍している方(留年者等)

各部署からのお知らせ

大 学 図 書 館

■ 春休み中の貸出図書の返却について

返却期限は4月14日(金)です。大学図書館が閉館している時は入口横にある図書返却ポストへ返却してください。

■ 開館時間案内

4月12日(水)～7月31日(月)は、下記の通り開館します。

平日：8時50分～20時 土曜日：8時50分～18時

*7月中の平日(月～金)は1時間延長し、**8時50分～21時**となります。

*なお、海の日7月17日(月)は8時50分～16時30分です。

■ 新規 文庫本の購入について

皆さんからの購入希望が多かった文庫本(合計1200冊)と、英語学習に役立つ「PENGUIN READERS シリーズ」(300冊)を購入しました。大学図書館1階 第2開架図書室 壁側棚(新潮文庫ならび)にありますので、どうぞご利用ください。

■ 閲覧用目録カード廃棄のお知らせ

昭和24年(1949)以降に受入れられた学内所蔵資料についてはデータが入力され、検索システムGLIM/OPACで検索可能になったため、2階にあった入力済みの閲覧用目録カードを廃棄しました。

今後は検索にGLIM/OPACをご利用ください。ただし、以下の資料はGLIM/OPACに未入力ですので、引き続き目録カードをご利用ください。

- 日本語日本文学科所蔵の和装本
(昭和24年～昭和63年受入分)
- 東洋文化研究所所蔵の中国語・韓国語の図書
(昭和24年～平成9年受入分)
- 昭和24年以前に受入れられた資料

なお、これに伴い、2階参考室のレイアウトが変更になりました。

■ 館内のGLIM/OPAC 検索用コンピュータを増設しました

1階、2階にそれぞれ4台設置しているGLIM/OPAC検索用コンピュータを1階、2階とも各6台に増設しました。

■ 毎日新聞をコンピュータ上で読めます

毎日新聞の全国版、地方版を含めすべての紙面の記事検索(本文の閲覧)「週刊エコノミスト」、英字新聞「MDN(Mainichi Daily News)」などの本文をコンピュータ上で読めるようになりました。

大学図書館HP(<http://www.glim.gakushuin.ac.jp>)「外部オンラインデータベース」からアクセスできます。

● 本学教員受贈目録(11月～1月整理分) ●

次の方々から著書をご寄贈いただきました。(50音順、敬称略)

- ① 秋山隆彦(研究代表者)
『キラルブレステッド酸触媒を用いた不斉合成反応の開発』2005(科学研究費補助金基盤研究(C)(2)研究成果報告書)
- ② 入澤寿美(研究代表者)
『並列計算機を使った分子動力学と可視化モジュールの融合手法の開発』2005(科学研究費補助金基盤研究(C)(2)研究成果報告書)
- ③ 上田隆穂[ほか]編
『テキストマイニングによるマーケティング調査』講談社 2005
- ④ 川嶋辰彦(研究代表者)
『高齢者人口の都心回帰：我が国都市圏システムのロキシー指標分析』(科学研究費補助金(基盤研究(B)(2))研究成果報告書)
- ⑤ 小林 忠(学術協力)
『北斎展』日本経済新聞社 2005
- ⑥ 小林 忠(監修)
『浮世絵師列伝』平凡社 2006(別冊太陽)
- ⑦ 小林 忠
『歌麿の美人』小学館 2006((浮世絵ギャラリー：5).)
- ⑧ 杉田善弘，上田隆穂
『プライシング・サイエンス：価格の不思議を探る』同文館出版 2005
- ⑨ 杉山直樹(研究代表者)
『19世紀後半におけるフランス哲学の展開とイギリス思想の導入に関する研究』2005(科学研究費補助金基盤研究(C)(2)研究成果報告書)
- ⑩ 高田博行(研究代表者)
『「思想」としての正書法問題：ドイツ語史における規範議論：1700-1850年』2005(科学研究費補助金基盤研究(C)(2)研究成果報告書)
- ⑪ 中島匠一
『数を数えてみよう』日本評論社 2004(はじめよう数学：7)
- ⑫ 福井憲彦
『ロワール流域から北へ』山川出版社 2005(世界歴史の旅，フランス：1)
- ⑬ 福井憲彦
『歴史学入門』岩波書店 2006
- ⑭ 持田邦夫(研究代表者)
『ケイ素及びゲルマニウム置換ポレート合成と触媒反応への展開』2005(科学研究費補助金基盤研究(C)(2)研究成果報告書)

法経図書センター

■ 開館時間案内

月～土曜日 8時50分～20時

＊試験期の月～金曜日はさらに1時間延長いたします。

＊夏季・冬季・春季休業中も20時まで開館いたします。

■ 春休み館外貸出図書の返却について

返却日は4月14日(金)です。遅れないように返却してください。

■ 平成18年度休館日について

日曜、祝日、夏期休業中の土曜日、開院記念日(10/17)、12/23～1/8、2/12～2/15

■ 入館ゲート開始

平成18年4月より法経図書センターに入館ゲートを導入しました。

入館には**学生証・教職員証・学習院図書利用証**が必要になります。

詳しくは、ポスター・ホームページをご覧ください。



学 生 部

■ 証明書の交付について

対 象：平成19年3月卒業見込・修了見込学生

種 類：成績証明書(和文・英文)

卒業見込証明書(和文・英文)

修了見込証明書(和文・英文)

健康診断証明書(和文)

交付開始：4月7日(金)

健康診断証明書のみ5月1日(月)

交付場所：証明書自動発行機(西5号館4階学生部前)より発行します。

学生証を必ず持参してください。

証明書自動発行機利用時間：

月～金 9:00～16:45

土曜日 9:00～12:30

■ 住所変更届

学生本人の現住所の変更、または保証人の現住所の変更があった場合には、速やかに所定の『学生現住所届(変更届)』あるいは『保証人住所変更届』を学生部に提出してください。

施 設 部

輔仁会館は学生の皆さんに開放された課外活動の場です。使用申込みは施設部管理課にて受け付けています。申込みは原則として1ヶ月前の同日より受け付けます。

■ 平成18年4月～12月までの輔仁会館集会室貸出し予定について

4月1日(土)～7月31日(月) 平常通り
(下記期間除く)

8月1日(火)～9月18日(月) 貸し出さない

9月19日(火)～12月20日(水) 平常通り
(下記期間除く)

12月21日(木)～1月7日(日) 貸し出さない

※ただし、次の期間は学校行事のため、一般貸出しは行いません。

4月5日(水)～4月11日(火) 新入学生歓迎行事期間

4月16日(日)

オール学習院の集い

11月2日(木)～11月7日(火) 大学祭準備・大学祭

※その他日程に変更がある場合は輔仁会館事務室前掲示板及び管理課にてお知らせします。

■ 輔仁会館使用上のお願い

輔仁会館使用の際には、下記のルールを守りようご協力願います。

- ①各団体の使用区分は2コマ迄とし、同一団体が複数の名を使って無作為に部屋を押さえ、独占することを禁止します。
- ②輔仁会館内での音出しはご遠慮ください。(周りでミーティングなどを行っている団体が迷惑しています。)
- ③退室時間を厳守し、ゴミ等を放置したままにしないでください。

財 務 部

■ 平成18年度学費納入について

平成18年度第1期分の学費納付金振込依頼書(振込用紙)の発送予定および納付期限は、下記のとおりです。

納入について不明な点などございましたら、大学会計課までお早めにご相談ください。

発送時期 平成18年4月中旬

納付期限 平成18年4月28日(金)

- ◎必ず送付された振込用紙にて納付してください。
- ◎年額を納付することもできます。(第1期分のみ振込依頼書と年額分の振込依頼書を送付いたします。)
- ◎住所変更をされた方は学生部へ届け出てください。

学 費 一 覧 表

(単位 円)

区 分		項 目	入学年度	合 計	分納額・分納期		授 業 料		※ 維持費	※ 父母会費	※ 輔仁会費	※ 新聞代	※ 学会費	
					第 1 期	第 2 期	※第 1 期	第 2 期						計
大 学	法学部・経済学部		H10	774,300	504,300	270,000	270,000	540,000	219,000	5,000	6,300	500	3,500	
			H11	801,300	521,300	280,000	280,000	560,000	226,000	5,000	6,300	500	3,500	
			H12	837,300	544,300	293,000	293,000	586,000	236,000	5,000	6,300	500	3,500	
			H13～H17	871,300	566,300	305,000	305,000	610,000	246,000	5,000	6,300	500	3,500	
	文 学 部	哲学科・史学科 日本語日本文学科 英米文学科 ドイツ文学科 フランス文学科	H10	857,800	545,800	312,000	312,000	624,000	219,000	5,000	6,300	500	3,000	
			H11	878,800	558,800	320,000	320,000	640,000	224,000	5,000	6,300	500	3,000	
			H12	912,800	579,800	333,000	333,000	666,000	232,000	5,000	6,300	500	3,000	
			H13～H17	944,800	599,800	345,000	345,000	690,000	240,000	5,000	6,300	500	3,000	
		心理学	H12	942,800	609,800	333,000	※ 30,000 636,000	333,000	※ 30,000 666,000	232,000	5,000	6,300	500	3,000
			H13～H17	974,800	629,800	345,000	※ 30,000 375,000	345,000	※ 30,000 720,000	240,000	5,000	6,300	500	3,000
	理 学 部	物理学 化学	H10	1,215,800	783,800	432,000	※ 80,000 512,000	432,000	※ 80,000 944,000	260,000	5,000	6,300	500	—
			H11	1,244,800	801,800	443,000	※ 80,000 523,000	443,000	※ 80,000 966,000	267,000	5,000	6,300	500	—
			H12	1,279,800	823,800	456,000	※ 80,000 536,000	456,000	※ 80,000 992,000	276,000	5,000	6,300	500	—
			H13～H17	1,315,800	845,800	470,000	※ 80,000 550,000	470,000	※ 80,000 1,020,000	284,000	5,000	6,300	500	—
		数学科	H10	1,155,800	723,800	432,000	※ 20,000 452,000	432,000	※ 20,000 884,000	260,000	5,000	6,300	500	—
			H11	1,184,800	741,800	443,000	※ 20,000 463,000	443,000	※ 20,000 906,000	267,000	5,000	6,300	500	—
H12			1,219,800	763,800	456,000	※ 20,000 476,000	456,000	※ 20,000 932,000	276,000	5,000	6,300	500	—	
H13～H17			1,255,800	785,800	470,000	※ 20,000 490,000	470,000	※ 20,000 960,000	284,000	5,000	6,300	500	—	
大 学 院	博 士 前 期 課 程	政治学・経済学・経営学	H13～H17	670,700	430,700	240,000	240,000	480,000	186,000	—	1,200	—	3,500	
		人 文 哲～仏	H13～H17	664,200	424,200	240,000	240,000	480,000	180,000	—	1,200	—	3,000	
		心 理 学	H15～H17	694,200	454,200	240,000	※ 30,000 270,000	240,000	※ 30,000 510,000	180,000	—	1,200	—	3,000
		自 然 実 験	H15～H17	905,200	580,200	325,000	※ 70,000 395,000	325,000	※ 70,000 720,000	184,000	—	1,200	—	—
		理 論	H15～H17	855,200	530,200	325,000	※ 20,000 345,000	325,000	※ 20,000 670,000	184,000	—	1,200	—	—
	博 士 後 期 課 程	法学・政治学 経済学・経営学	H11	544,700	349,700	195,000	195,000	390,000	150,000	—	1,200	—	3,500	
			H12	573,700	368,700	205,000	205,000	410,000	159,000	—	1,200	—	3,500	
			(注1) H13	600,700	385,700	215,000	215,000	430,000	166,000	—	1,200	—	3,500	
			(注2) H14	636,700	408,700	228,000	228,000	456,000	176,000	—	1,200	—	3,500	
			(注2)(注3)H15～H17	670,700	430,700	240,000	240,000	480,000	186,000	—	1,200	—	3,500	
院 程	人 文 科 学	哲～仏	H11	544,200	349,200	195,000	195,000	390,000	150,000	—	1,200	—	3,000	
			H12	577,200	370,200	207,000	207,000	414,000	159,000	—	1,200	—	3,000	
			(注1) H13	598,200	383,200	215,000	215,000	430,000	164,000	—	1,200	—	3,000	
			(注2) H14	632,200	404,200	228,000	228,000	456,000	172,000	—	1,200	—	3,000	
			(注2)(注3)H15～H17	664,200	424,200	240,000	240,000	480,000	180,000	—	1,200	—	3,000	
	心理学	(注2) H14	662,200	434,200	228,000	※ 30,000 258,000	228,000	※ 30,000 486,000	172,000	—	1,200	—	3,000	
		(注2)(注3)H15～H17	694,200	454,200	240,000	※ 30,000 300,000	240,000	※ 30,000 510,000	180,000	—	1,200	—	3,000	
		(注1) H13	834,200	536,200	298,000	※ 70,000 368,000	298,000	※ 70,000 666,000	167,000	—	1,200	—	—	
		(注2) H14	869,200	558,200	311,000	※ 70,000 380,000	311,000	※ 70,000 692,000	176,000	—	1,200	—	—	
		(注3)H15～H17	905,200	580,200	325,000	※ 70,000 395,000	325,000	※ 70,000 720,000	184,000	—	1,200	—	—	
自 然 科 学	理 論	H12	755,200	468,200	287,000	※ 20,000 307,000	287,000	※ 20,000 594,000	160,000	—	1,200	—	—	
		(注1) H13	784,200	486,200	298,000	※ 20,000 318,000	298,000	※ 20,000 616,000	167,000	—	1,200	—	—	
		(注2) H14	819,200	508,200	311,000	※ 20,000 331,000	311,000	※ 20,000 642,000	176,000	—	1,200	—	—	
		(注2)(注3)H15～H17	855,200	530,200	325,000	※ 20,000 345,000	325,000	※ 20,000 670,000	184,000	—	1,200	—	—	
		専門職大学院 法務研究科	H16・H17	1,301,200	744,200	557,000	557,000	1,114,000	186,000	—	1,200	—	—	

注意 1：平成10年度大学院博士前期課程に入学し、13年 3 月に修了後直ちに博士後期課程に進学した者は下の表となります。

区 分		項 目	前期課程 入学年度	合 計	分納額・分納期		授 業 料		※ 維持費	※ 父母会費	※ 輔仁会費	※ 新聞代	※ 学会費	
					第 1 期	第 2 期	※第 1 期	第 2 期						
大 学 院	博 士 後 期	法・政治・経済・経営	H10	573,700	368,700	205,000	205,000	205,000	410,000	159,000	—	1,200	—	3,500
		人 文 哲～仏	H10	577,200	370,200	207,000	207,000	207,000	414,000	159,000	—	1,200	—	3,000
		心 理 学	H10	607,200	400,200	207,000	207,000	※ 30,000 237,000	※ 30,000 444,000	159,000	—	1,200	—	3,000
		自 然 実 験	H10	805,200	518,200	287,000	287,000	※ 70,000 357,000	※ 70,000 644,000	160,000	—	1,200	—	—
		理 論	H10	755,200	468,200	287,000	287,000	※ 20,000 307,000	※ 20,000 594,000	160,000	—	1,200	—	—

注意 2：平成11年度大学院博士前期課程に入学し、14年 3 月・15年 3 月に修了後直ちに博士後期課程に進学した者は下の表となります。

区 分		項 目	前期課程 入学年度	合 計	分納額・分納期		授 業 料			※ 維持費	※ 父母会費	※ 輔仁会費	※ 新聞代	※ 学会費
					第 1 期	第 2 期	※第 1 期	第 2 期	計					
大 学 院	博 士 後 期	法・政治・経済・経営	H11	600,700	385,700	215,000	215,000	215,000	430,000	166,000	—	1,200	—	3,500
		人 文 哲～仏	H11	598,200	383,200	215,000	215,000	215,000	430,000	164,000	—	1,200	—	3,000
		心 理 学	H11	628,200	413,200	215,000	215,000	* 30,000 245,000	* 30,000 460,000	164,000	—	1,200	—	3,000
		自 然 実 験	H11	834,200	536,200	298,000	298,000	* 70,000 668,000	* 70,000 668,000	167,000	—	1,200	—	—
		理 論	H11	784,200	486,200	298,000	298,000	* 20,000 318,000	* 20,000 616,000	167,000	—	1,200	—	—

注意 3：平成12年度大学院博士前期課程に入学し、15年 3 月・16年 3 月に修了後直ちに博士後期課程に進学した者は下の表となります。

※注：17年度入学生は、前期課程に在籍に入り、18年度から19年度に移行後、後期課程に在籍するに当たります。														
区 分		項 目	前期課程 入学年度	合 計	分納額・分納期		授 業 料			※ 維持費	※ 父母会費	※ 輔仁会費	※ 新聞代	※ 学会費
					第1期	第2期	※第1期	第2期	計					
大 学 院	博 士 後 期	法・政治・経済・経営	H12	636,700	408,700	228,000	228,000	228,000	456,000	176,000	—	1,200	—	3,500
		人 文 哲～仏	H12	632,200	404,200	228,000	228,000	228,000	456,000	172,000	—	1,200	—	3,000
		人 学 心理学	H12	662,200	434,200	228,000	※ 30,000 258,000	228,000	※ 30,000 486,000	172,000	—	1,200	—	3,000
		自 然 実験	H12	869,200	558,200	311,000	※ 70,000 381,000	311,000	※ 70,000 692,000	176,000	—	1,200	—	—
		自 学 理 論	H12	819,200	508,200	311,000	※ 20,000 331,000	311,000	※ 20,000 643,000	176,000	—	1,200	—	—

生涯学習センター キャリアスクール 2006年度 春期講座のご案内

もうご存知ですか？ 生涯学習センターキャリアスクールの資格・検定対策、スキルアップ講座

新入生の皆さん、初めまして。

在学生の皆さん、こんにちは。

学習院生涯学習センター キャリアスクールです。

キャリアスクールでは、昨今の経済状況や自治体・企業の採用動向を踏まえ、学生の皆さんのニーズを反映した様々な資格・検定取得対策講座やTOEIC、TOEFL、コミュニケーション能力、文章トレーニング、自己分析等の講座を多数開設しています。

講座の開講時間は、5時限目や夜間、土曜日。可能な限り学校行事を考慮したスケジュール。全ての講座が生涯学習センター（西11号館）や大学校舎を利用して開講されるため、大学の正規授業やクラブ活動後の移動時間が有効に使えます。また、いずれの講座も外部の資格取得や語学教育の専門機関と提携、経験豊富な講師陣の講義に加え、カリキュラム内容は最新かつ効率的でありながら、リーズナブルな費用で学生の皆さんのスキルアップ、キャリアアップを応援しています。

「大いに学び、大いに遊ぶ！」人生の中で最も時間が自由

になる大学生活だからこそ、センターの講座を上手に活用し、ご自身の付加価値を高めましょう。

■ 学生の皆さんに朗報、嬉しいニュース！ “在学生対象受講料給付制度”

学習院大学在学生の皆さんを対象とした“受講料給付制度”が、03年度からスタートしました。この制度は、センターの指定する対象講座（表1参照）を受講、講座日程の8割以上を出席し、後日、申請すると、受講料の20～25%が給付されるというものです。就職活動への準備や将来の独立、起業を考えている目的意識の高い学生の皆さんに対し、有用な講座の提供という支援に留まらず、経済的なバックアップを目的としたものです。制度への認知度が上がるにつれ、利用者が増え、昨年度はおよそ200名もの学生の皆さんがエントリーし給付を受けています。これにより、学生の皆さんの実質的な受講料負担額は、大幅に軽減され、いっそう格安な費用で資格・検定講座が受講できるようになりました。

● 2006年度春期 資格・検定・語学・スキルアップ講座開催予定一覧

講 座 名	開講期間（予定）	本試験日（予定）
☆宅建主任者試験対策講座 基礎編（春期のみ）TAC提携	5月20日～ 8月30日	10月中旬
☆行政書士試験対策総合講座（春期のみ）TAC提携	5月20日～11月 8日	11月上旬
☆総合・国内旅行業務取扱管理者講座（W受験コース）（春期のみ）クレアールアカデミー提携	5月19日～10月 3日	9・10月上旬
☆総合・国内旅行業務取扱管理者講座（科目免除コース）（春期のみ）クレアールアカデミー提携	6月 2日～10月 3日	10月上旬
☆2級ファイナンシャル・プランニング技能検定（AFP）入門講座付コース（春期のみ）クレアールアカデミー提携	6月26日～07年 1月15日	1月下旬
☆2級ファイナンシャル・プランニング技能検定（AFP）一般コース（春期のみ）クレアールアカデミー提携	7月10日～07年 1月15日	1月下旬
☆初級システムアドミニストレータ講座（春期のみ）LEC提携	6月15日～ 9月30日	10月中旬
☆秘書検定準1級・2級講座（秋期は9月開催予定）TAC提携	5月19日～ 6月27日	6月下旬
☆貿易実務検定講座 2級貿易スペシャリスト/C級対応（秋期は10月開催予定）国際コミュニティ学院提携	5月10日～ 6月28日	7月上・中旬
☆医療事務講座 診療報酬請求事務能力認定試験対応（秋期は9月開催予定）日本医療事務協会提携	5月17日～ 7月15日	7月中旬
☆証券外務員二種資格試験講座（秋期は9月開催予定）リ・クリエーション提携	5月19日～ 8月11日	随 時
色彩検定3級講座（春期のみ）カラリスト講師	4月20日～ 6月 1日	6月中旬
色彩検定2級講座（春期のみ）カラリスト講師	6月 8日～10月26日	11月中旬
★☆初学者向け 日商簿記検定2級ストレート講座（春期のみ）クレアールアカデミー提携	6月 3日～11月11日	11月中旬
★ ビジネス実務法務検定3級講座（秋期は9月開催予定）Wセミナー提携	5月22日～ 6月26日	7月上旬
TOEIC®リスニング対策講座A日程（秋期開催予定有）ベルリッツ提携	5月10日～ 7月14日	——
TOEIC®リスニング対策講座B日程（秋期開催予定有）ベルリッツ提携	6月21日～ 7月26日	——
TOEIC®講座600点達成コース A日程（秋期開催予定有）OTC提携	5月17日～ 7月26日	——
TOEIC®講座600点達成コース B日程（秋期開催予定有）OTC提携	5月16日～ 7月13日	——
留学準備+TOEFL点数UP講座（春期のみ）ELS提携	5月23日～ 7月 6日	——
★ TOEIC® 800点を目指す！英会話+TOEIC®スコアアップコース（通年コース）ELS提携	5月22日～11月29日	——
英語発音クリニック 初級クラス（中級クラス有）ELS提携	5月13日～ 6月10日	——
★ 大学生のための夏休み集中ブラッシュアップ英会話 ベルリッツ提携	7月26日～ 8月 2日	——
★ 大学生向け 英語夏期集中講座 ベルリッツ提携	9月13日～ 9月21日	——
大学生のための自己分析とキャリア・プラン キャリア工学ラボ提携	6月25日（日）、7月1日（土）	——
就職のためのマスコミ文章論＜夏期集中講座＞元共同通信社特派員講師	7月28日～ 8月29日	——

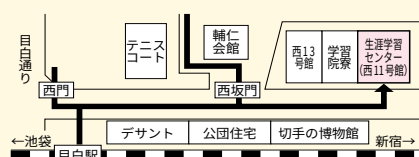
★は2006年度新規開設予定講座 ☆は「在学生受講料給付制度」対象講座

*その他、ビジネスEメール・ライティングやビジネスコミュニケーション講座など、実用講座も多数開講します。

■ 募集要項を手に入れよう

各講座の日程詳細や申込方法を記した募集要項は、北1号館就職部カウンター及び西5号館学生ホール東西の入口、西2号館入口、輔仁会館1階ホール設置のスタンドにてお取りください。西11号館生涯学習センター窓口でもお渡ししています。

また、資格の内容や効能、授業内容や使用教材等を説明する講座ガイダンスを実施いたします。日程は、キャンパス内の立看板やポスターで4月以降掲示します。一部の語学講座を除き事前予約は不要ですので、都合の良い時間帯にご参加下さい。何れの講座ガイダンスも参加は無料です。



お問い合わせ・連絡先

Tel 03(5992)1040 Fax 03(5992)1124
E-mail: shogaigakushu@gakushuin.ac.jp
URL: <http://www.gakushuin.ac.jp/open/>

● 2006年度 在学生受講料給付制度対象講座及び給付予定金額 (表1)

*受講料の20～25%相当を給付します。(受講料6万円以上25%給付、他20%給付)

受講料給付対象講座名	受講料	給付金額	実質受講料負担額
宅建主任者試験対策講座(基礎編)	65,000	16,250	48,750
行政書士試験対策総合講座	96,000	24,000	72,000
総合・国内旅行業務取扱管理者講座(W受験コース)	72,000	18,000	54,000
総合・国内旅行業務取扱管理者講座(科目免除コース)	44,000	8,800	35,200
初級システムアドミニストレータ講座	42,000	8,400	33,600
初学者向け 日商簿記検定2級ストレート講座	50,000	10,000	40,000
秘書検定準1級・2級講座	40,000	8,000	32,000
貿易実務講座	30,000	6,000	24,000
2級FP技能検定(AFP)+入門講座	88,000	22,000	66,000
2級FP技能検定(AFP)	80,000	20,000	60,000
証券外務員二種資格試験講座	35,000	7,000	28,000
医療事務講座	52,000	10,400	41,600

☆受講料にはテキスト代は含みません。

国際交流センター

■ 国際交流センターオリエンテーション

国際交流センターの紹介と、本学の海外留学制度や留学に関する基本的な情報についての説明会を下記のとおり開催します。留学を考えている学生の皆さんは必ず参加してください。

日 時：4月11日(火) 10:00～11:00

場 所：西5号館-201

■ 外国人新入生対象オリエンテーション

外国人新入生を対象にしたオリエンテーションを下記のとおり開催します。ビザや奨学金、アルバイト等について説明がありますので、新入生は必ず参加してください。

日 時：4月11日(火) 12:30～13:30

場 所：西2号館-502

■ 国際交流センターホームページのご案内

国際交流センターからの各種募集案内や行事等の情報はホームページを通じて随時お伝えしています。

また、協定校や留学情報機関のホームページにもリンクがはられています。

留学や国際交流に興味のある学生さん、また外国人留学生の皆さん、ぜひ定期的にのぞいてみてください。

アドレスは<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/cie/index.html>です。

なお、国際交流に関する情報は、学外からのものを含め、

国際交流センター前にある掲示板を通してもお知らせしています。

■ 学習院大学海外留学奨学金の募集

本学では、留学に伴う経済的負担を軽減し、少しでも多くの学生に留学を経験してもらうことを目的として、「学習院大学海外留学奨学金」を設けています。

詳細は国際交流センターにおたずねください。

出願条件：教授会(院生は研究科委員会)で留学が許可されているか、もしくは海外の大学等へ出願中の学生

奨学金額：1人50万円(返還の義務なし)

採用予定数：年間15名

出願・選考：年2回(6月および12月)

■ 大学院学生国外研究発表援助の募集

本学では、国外で研究発表を行う大学院学生に対し、渡航費用及び滞在費の一部を援助する「大学院学生国外研究発表援助」制度を設けています。

募集要項は国際交流センターで配布しています。

応募条件：平成18年度中に国外で開催される研究集会で発表を行う大学院学生

援助内容：1人10万円を限度として、渡航費および滞在費の全額または一部を補助

就職部からのお知らせ

重要 《1～3年生へ》

■ 課外セミナーガイダンス開催〈1～3年生対象〉

就職部では、下記のとおり1～3年生を対象に上記ガイダンスを実施します。ガイダンスでは、〈公務員セミナー〉〈マスコミ広告セミナー〉および生涯学習センターによるキャリアアップ講座の概要について説明します。

早い時期から、自分の将来の進路について準備を開始することは大事なことです。参考までに、昨年度のカリキュラムを掲載しますので、皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

日 時：平成18年4月11日（火）

16:00～17:30頃

場 所：西5号館B1教室

【参考】公務員セミナー

● 平成17年度講座日程（日程・科目の組合せは年によって異なります。）

科目	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	3
教養試験対策			5/11～7/6 (9回)				9/28～12/7 (9回)				3/7～10 直前集中
			前期				後期				
専門試験対策		4/18～7/4 (毎週月曜日 11回)				9/26～12/19 (毎週月曜日 11回)					
		憲法				民法					
		4/22～7/8 (毎週金曜日 11回)				9/30～12/16 (毎週金曜日 11回)					
		経済原論				行政法					

【参考】マスコミ・広告セミナー

● 平成17年度 前・後期カリキュラム
（日程・講義内容は年によって異なります。）

回	前期 5/10～6/14 (毎週火・木曜日)	後期 10/18～11/24 (毎週火・木曜日)
	講義題目／講師所属先	講義題目／講師所属先
1	「05 マスコミ・広告状況」 ／創出版	マスコミを目指す人へ ／創出版
2	テレビの仕事① ／テレビ朝日	進化するテレビ ／日本放送協会
3	テレビの仕事② ／日本テレビ放送網	就職試験に向けて ／日本テレビ放送網
4	広告会社の求める人材① ／博報堂	新聞記者の仕事 ／読売新聞社
5	広告会社の求める人材② ／電通	これからの広告 ／博報堂
6	テレビの仕事③ ／日本放送協会	広告会社で働くということ ／電通
7	広告会社の求める人材③ ／アサツーディー・ケー	通信社の役割と今後 ／時事通信社
8	出版社で働くということ① ／小学館	テレビ局の仕事 ／テレビ朝日
9	出版社で働くということ② ／(株)アシェット婦人画報社	出版の今後 ／集英社
10	ジャーナリストの条件 ／共同通信社	職業としての編集者 ／講談社
11	新聞社で働くということ ／朝日新聞社東京支社	

《4年生・博士前期課程2年生へ》

■ 推薦書発行について

※企業より推薦状の提出を求められている場合、次の要件を満たしている者に交付します。

- ① 「進路登録票」を提出していること
- ② 卒業見込証明書の交付が受けられる者
- ③ 企業からの応募の条件または内々定の条件として提出を求められている者

● 受付開始日：6月23日（金）

● 交付開始日：7月1日（土）

※以降申込日の翌日交付

（日曜・祝日等事務室閉室日を含まず）

● 受付場所：就職部カウンター

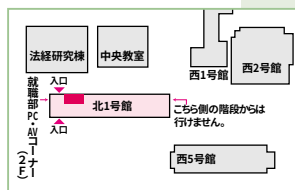
事務室開室時間：月～金 8:40～16:45

（11:30～12:30を除く）

土曜日 8:40～12:30

● 注意

- 申込み時に印鑑を持参すること。
- 内々定の条件として推薦状を求められている場合は、提出後の内定辞退はできません。



《その他》

■ 個人（就職）相談

就職活動に関する個人相談を随時受付けています。希望者は、北1号館1階就職部窓口へ申し出てください。就職活動について、どんな些細なことでも遠慮せずに、お気軽にご相談ください。1～3年生も歓迎します。

■ 就職関連情報について

就職希望者に対する情報提示・連絡は、主に掲示によって行っています。常に就職部掲示板を注目するように心掛けてください。掲示板は、北1号館1階就職部前および資料室内にそれぞれ設置されています。さらに、就職部ホームページでも諸情報を得ることができます。小まめにアクセスすることをすすめます。

ホームページアドレス：

<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/adm/place/index.html>

◆ 就職資料室およびPC・AVコーナーの活用 ◆

就職資料室は北1号館1階（事務室隣）に、就職部PC・AVコーナーは北1号館2階（事務室上）にあります。ここには、就職に関する様々な資料および公務員関係の資料を取り揃えています。就職等に関して、資料閲覧希望の方は、是非ご利用ください。

なお、資料室およびPC・AVコーナーの開室時間は、以下のとおりです。

◆ 平日 8:40～16:30 ◆ 土曜日 8:40～12:00

学習院大学セクシュアル・ハラスメント相談窓口 ―平成18年度相談員―

氏 名	所 属 ・ 職	連 絡 先
岡 孝 おか たかし	法学部 法学科教員	e-mail : 19990094@gakushuin.ac.jp 東2号館9階902室 (内線 4902)
遠藤 薫 えんとう かおる	法学部 政治学科教員	e-mail : kaoru.endo@gakushuin.ac.jp 東2号館9階917室 (内線 4917)
岩田規久男 いわた きくお	経済学部 経済学科教員	e-mail : kikuo.iwata@gakushuin.ac.jp 東2号館11階1116室 (内線 4116)
和田 哲夫 わだ てつお	経済学部 経営学科教員	e-mail : tetsuo.wada@gakushuin.ac.jp 東2号館11階1119室 (内線 4119)
吉川 真理 よしかわ まり	文学部 心理学科教員	e-mail : mari.yoshikawa@gakushuin.ac.jp 北2号館7階703室 (内線 5763)
赤尾 和男 あかお かずお	理学部 数学科教員	e-mail : 19760081@gakushuin.ac.jp 南4号館4階414室 (内線 6442)
長谷部由起子 はせべ ゆきこ	法科大学院教員	e-mail : yukiko.hasebe@gakushuin.ac.jp 東2号館8階809室 (内線 4809)
前田 重行 まえだ しげゆき	法科大学院教員	e-mail : shigeyuki.maeda@gakushuin.ac.jp 東2号館9階915室 (内線 4915)
斉藤 利彦 さいとう としひこ	教職課程教員	e-mail : 19851078@gakushuin.ac.jp 北2号館6階601室 (内線 6749)
廣 紀江 ひろ のりえ	スポーツ・健康科学センター教員	e-mail : norie.hiro@gakushuin.ac.jp 北1号館2階 (内線 6381)
池田 賢司 いけだ けんじ	学生部職員	e-mail : kenji.ikeda@gakushuin.ac.jp 西5号館4階 (内線 2401)
学生相談室		北1号館2階 (東側) (内線 2514)

* 学部・学科等を問わず、誰にでも相談できます。

* 相談員は、あなたのプライバシーを必ず守ります。

※ 関連規程、ガイドラインは、「学生生活の手引」、「大学ホームページ（キャンパスライフ）」に掲載されています。

保健室 だより

こんな心身のサインが…

新たな生活がスタートです！

高校までの担任制とは異なり、大学では、自己責任が求められます。

毎年、この時期になると、学生生活を過ごすうえで、迷いや悩みを抱えていたり、あるいは、自らの生活をもっと充実させるために、情報やアドバイスを求めに、多くの学生が来室します。気軽におこしください。

よくある相談内容

- 志望大学に合格できなかったことが、受けとめきれない
- 学業についての不安
- 友人がなかなかつけれない
- 学業上の進路についての悩み
- 自分のあり方、性格
- 対人関係
- 「人の目が気になる」など
- 親、友人、異性、部活、サークル、アルバイト先等での人間関係
- 就職活動や社会に出て行くことについての不安
- 慣れない生活（一人暮らし等）での不安
- 食事のバランスについて
- とくとき息が苦しくなる
- 性の悩み

親元から離れて生活する方へ

「遠隔地被保険者証」（健康保険証）を作成しよう！

手続き

- ① 自動発行機で在学証明書の発行を受ける
- ② 保護者が加入している保険機関に①を添えて請求する
※毎年更新が必要となります

こころ

イライラする
情緒不安定
気分が落ち込む
集中できない
眠れない
焦燥感

からだ

だるい
ドキドキする
疲労感
月経不順
頭痛
下痢

行動

食事が増す
食欲がない
頼まれたら断りきれない
人まえに出たくない

誰もが、何らかの不安や不満、悩みをもって生活しているものです。誰かに相談して解決できてしまう人、時間が解決する場合、そして、なかなか誰にも話せず、とまどっている人、ちょっと立ち寄って話してみませんか？ご希望があれば、学校精神科医のカウンセリング（予約制）も行っています。

※各機関、秘密厳守を義務としていますので、安心してご利用ください。

曜 日	時 間	担 当
第2・第4 金曜日	9時～11時30分 予約制	木 英介 学校医 精 神 保 健

保健室開室時間

月～金	8時40分～16時45分
土	8時40分～12時30分

◆◆ 平成18年度 学年暦 ◆◆

ー 学部・大学院 ー

4月1日	}	春季休業
7日		
4月1日	}	健康診断
7日		
8日		入学式(学部・大学院・法科大学院合同)
5日	}	新入生履修指導等
11日		
12日		第1学期授業開始
25日	}	履修届受付期間 (学部1・2年)
26日		
27日	}	履修届受付期間 (学部3・4年、大学院)
28日		
5月15日		大学開学記念日(休講)
7月10日		第1学期授業終了
11日	}	補講期間
17日		
18日	}	学期末試験
31日		
8月1日	}	夏季休業
9月23日		
9月11日	}	集中講義期間
22日		
25日		第2学期授業開始
10月17日		開院記念日(休講)
20日	}	四大学運動競技大会(休講)
22日		
11月2日	}	大学祭(準備・後片付け含む) (休講)
11月7日		
12月19日	}	補講期間
25日		
12月21日	}	冬季休業
1月7日		
20日		第2学期授業終了
1月22日	}	学年末試験
2月3日		
2月4日	}	学年末休講
3月31日		
3月20日		卒業式(学部・大学院・法科大学院合同)
3月27日	}	1～3年生成績表交付
3月29日		

ー 法科大学院 ー

4月1日	}	春季休業
4日		
4月1日	}	健康診断
3日		
4日		履修ガイダンス等
8日		入学式(学部・大学院・法科大学院合同)
12日		第1学期授業開始
		[一部4月5日]
5日	}	集中講義
11日		
6日	}	履修届受付期間
7日		
5月15日		大学開学記念日(開講)
7月15日		第1学期授業終了
7月18日	}	学期末試験
31日		
8月1日	}	夏季休業
9月15日		
9月16日		第2学期授業開始
10月17日		開院記念日(休講)
20日	}	四大学運動競技大会(休講)
22日		
11月2日	}	大学祭(準備・後片付け含む) (11月7日のみ開講)
11月7日		
12月19日	}	集中講義・補講期間
25日		
12月21日	}	冬季休業
1月7日		
20日		第2学期授業終了
1月22日	}	学年末試験
2月3日		
2月4日	}	学年末休講
3月31日		
3月20日		卒業式(学部・大学院・法科大学院合同)
3月27日	}	1～2年生成績表交付
3月29日		

課・外・活・動・レ・ポ・ー・ト 漫 画 研 究 会

私たち漫画研究会は創作漫画を中心とした活動を行っています。年に二回、「ペんの樹」という会誌を発行しています。この会誌は会員全員が描くもので、会員の多さから大学漫研随一の厚さを誇り、他大学から「学漫の雄」と称えられたこともあるほどです。また、その会誌に付随して批評集を発行し、会員同士が互いの漫画を批評しあってよりよい作品づくりをめざしています。会員には漫研に入会する前から漫画を描いていた経験者もいれば、ここの漫研に入ってから初めて漫画を描いた会員等様々な会員がいます。初心者の方は最初は不安に感じるとは思いますが、前期活動を通して上級生が優しく漫画の描き方を指導してくれるので心配ありません。

私たちは会誌作成のほかに年二回展示会を行っています。これは漫画研究会の普段の活動の成果としてイラストや漫画、漫画の原稿を展示するものです。ここで展示する漫画とは活動中にゼミ(グループ)ごとに分かれて、それぞれテーマを決めて描いた漫画のことです。漫画の原稿とは会誌に載せた漫画の生原稿で、会員からみれば、自分が漫画を描く上でとても参考になり、漫画の勉強になります。展示会に来てくださったお客様も新鮮だと思います。展示会の一回目は六月に行われ、二回目は大学祭で行われます。大学祭の時には六月の内容に加え、似顔絵を描いたりします。この似顔絵のため、夏合宿で似顔絵の猛練習をします。この猛練習の甲斐あってお客様も大勢来てくださいます。中には毎年必ず来て下さるお客様もいるほどです。また、学祭では毎年大ポスターというものも作成しています。これは前夜祭から学祭終了まで飾るもので、大きさは校舎の4階から2階にかかるくらい巨大なポスターで約一ヶ月かけて作成します。

以上が漫画研究会の主な活動です。自分が思い描いた物語を拙いながらも自分で漫画に描いて表現することは素晴らしいことで、嬉しいことでもあると思います。漫画に少しでも興味のある方はぜひ黎明505にお立ち寄り下さい。会員一同お待ちしております。



※次号の発行は7月になります。

学習院大学通信 COMPASS

第29号(在学生配布号)

2006年4月1日発行

◆編集発行◆

学習院大学学生部

東京都豊島区目白1-5-1

編集後記

学内で盗難が多発しています。特に多く発生している被害は、机上・ベンチなどに荷物を置いたままその場を離れ、置き引きにあうケースです。学内であるという安心感から無防備になりがちですが、学内といえども決して安全ではありません。大学構内は、たとえ「窃盗犯」が侵入したとしても、見分けることが困難です。本紙でも掲載しましたとおり、4月は、各種行事・ガイダンス等が開催されます。また新入生歓迎行事等で、学外からも多くの人が訪れます。貴重品や手荷物は常に身につけておくようにお願いします。

平成18年度「COMPASS」は、4月(本号)・7月・9月・1月に発行します。今年度もよろしく願いいたします。(こ)